

「第6回NIGIWAI LABO」を開催（2019年1月22日）

第6回NIGIWAI LABOは、麒麟株式会社 CSV戦略部 主幹 大北博一氏が登壇し「麒麟が共に取り組む遠野のまちづくり」について講演を行いました。

遠野市と50年以上のホップ契約栽培の歴史を積み重ねてきた麒麟ビール。少子高齢化が進み、農家も減っていくなか、近い将来、日本産ホップを原材料としたビール商品の製造の危機に直面しました。

そこで麒麟は、ホップ農家をはじめ遠野の行政や地域の人々と協働し、未来を見据えた取り組みを始めました。ホップの新規就農者の育成だけでなく、収穫祭イベントによる外部向けPRや、学校教育プログラム活用など、「ビールの里」としての新たな価値創造を通じて地域の人々の誇りを醸成しています。

課題を挙げ、将来のヴィジョンを描く。麒麟は遠野とともにイノベーションに挑戦し、日本産ホップを活用したビールの魅力化に取り組むと共に、ここにしかない価値を創りつづけていくことを熱く語りました。

